# 平成30年度 授業シラバスの詳細内容

| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名(英) | コミュニティワーク論 (Community Work ) | 授業コード | E043051 |
| 担当教員名 | 河村　裕次 | 科目ナンバリングコード | E30930 |
| 配当学年 | 2 | 開講期 | 後期 |
| 必修・選択区分 | コース必修<br>　こども・福祉コース<br>選択<br>　全コース(2015年度)<br>　地域マネジメントコース(2016年度以降)<br>　Bソリューションコース(2016年度以降)<br>　会計ファイナンスコース(2016年度以降)<br>　スポーツビジネスコース(2016年度以降) | 単位数 | 2 |
| 履修上の注意または履修条件 | 社会福祉士国家試験受験希望者は必修科目となっています。<br>本講義は地域福祉についての実践的技術等の内容になりますので，地域福祉論を履修した後，本講義を履修することをお薦めいたします。 | | |
| 受講心得 | 見ること，聞くこと，真剣に考えること，そして，自分の意見を持つことを心がけてください。 | | |
| 教科書 | | | |
| 参考文献及び指定図書 | 【推奨テキスト】<br>川村匡由(2009)『地域福祉の理論と方法』久美出版<br>※推奨テキストを中心に講義を行いますので，購入をお勧めします。<br>【参考テキスト】<br>社会福祉士養成講座編集委員会編(2010)『地域福祉の理論と方法』中央法規<br>坪井真編(2009)『地域福祉の理論と方法』みらい<br>上野谷加代子他(2007)『よくわかる地域福祉』ミネルヴァ書房<br>※その他参考テキストについては，講義時に随時紹介します。 | | |
| 関連科目 | 地域福祉論，社会福祉原論，高齢者福祉論，障害者福祉論，児童福祉論，福祉行財政と福祉計画，社会保障論，公的扶助論，権利擁護と成年後見制度，相談援助の理論と方法 | | |

| | |
|---|---|
| 授業の目的 | こんにちの社会福祉は地域福祉が中心となり展開されています。各地で多くの実践がなされることにより，その理論構築も進んでいます。本講義では，地域福祉実践において求められる知識・技術についての習得を目指します。 |
| 授業の概要 | 地域福祉論での基礎的知識をもとに,「地域福祉に係る組織，団体，および専門職や地域住民」,「地域福祉の推進方法」,「地域福祉推進のための課題と展望」について，講義・視聴覚教材を用い地域福祉実践において求められる知識・技術の習得をはかります。 |

| ○授業計画 | |
|---|---|
| 学修内容 | 学修課題(予習・復習) |
| 第 1 週 ： オリエンテーション・地域福祉論の振り返り<br><br>本講義の目的および到達目標等について説明します。<br>コミュニティワーク論を学ぶ上での基礎基本となる地域福祉論で学んだ事を振り返ります。 | 予習:講義の目的等についてシラバスを確認する<br>復習:配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |
| 第 2 週 ： 地域住民の役割と実際 | 予習:地域住民の役割について調べる<br>復習:配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |

| | |
|---|---|
| 地域福祉活動実践のためのさまざまな社会資源について考え，その主役となるべき地域住民の役割について説明します。 | |
| **第 3 週 ： 行政機関の役割と実際**<br><br>住民の福祉の窓口として，制度にもとづくさまざまな福祉サービス業務を担当している行政機関の概要について説明します。 | 予習：行政機関の役割について調べる<br>復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |
| **第 4 週 ： 民間組織の役割と実際**<br><br>地域福祉に関する民間組織としての社会福祉協議会や生協，農協について説明します。 | 予習：民間組織の役割について調べる<br>復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |
| **第 5 週 ： 専門職の役割と実際**<br><br>コミュニティソーシャルワークにおいて，利用者のニーズを掘り起こし，社会資源と結びつけていく専門職について説明します。 | 予習：コミュニティワークにおける専門職について調べる<br>復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |
| **第 6 週 ： 住民による地域福祉活動および組織**<br><br>地域福祉の推進において中核的な役割を担うのは住民です。その住民による福祉活動の内容とその組織について説明します。 | 予習：住民参加の方法の役割について調べる<br>復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |
| **第 7 週 ： 在宅福祉および在宅福祉サービスの推進**<br><br>地域福祉において大きな位置を占めている在宅福祉がどのように展開し，推進しているのかについて説明します。 | 予習：在宅福祉について調べる<br>復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |
| **第 8 週 ： 地域福祉の推進**<br><br>地域福祉の推進に関するさまざまな取り組みについて考え，そこにおける住民の役割について説明します。 | 予習：地域福祉の推進について調べる<br>復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |
| **第 9 週 ： 地域における福祉ニーズの把握**<br><br>地域福祉が対象とする住民の抱えている福祉ニーズについてどのように把握し，充足していくのかについて説明します。 | 予習：福祉ニーズの把握方法について調べる<br>復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |
| **第10週： 地域における福祉・医療・保健の統合的サービス**<br><br>地域において，福祉・医療・保健が連携した「地域包括ケアシステム」の構築されていく過程をたどりながら，目標とすべき姿，想定される課題について説明します。 | 予習：地域包括ケアシステムについて調べる<br>復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |
| **第11週： 地域福祉における医療と保健**<br><br>地域医療，地域保健についてそれぞれの領域に関する内容の理解や，総合の役割分担について説明します。 | 予習：地域医療，地域保健について調べる<br>復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |

| | |
|---|---|
| **第12週： 地域ケアと地域リハビリテーション**<br><br>地域包括ケアシステムについて考えることを通して，高齢者や障害者等が自立した生活を送ることをリハビリテーションという概念でとらえ，地域社会の仕組みそのものを再構築していく，地域リハビリテーションについて説明します。 | 予習：地域ケアについて調べる<br>復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |
| **第13週： 福祉サービス第三者評価の内容と課題**<br><br>福祉サービスの評価について，第三者評価を中心に，導入された経緯と現状および課題について説明します。 | 予習：住宅政策について調べる<br>復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |
| **第14週： 現代社会の地域福祉に関する課題**<br><br>こんにちの地域福祉に状況において，積み残されているかだいについて説明します。 | 予習：こんにちの地域福祉を巡る課題について調べる<br>復習：配布資料，板書等をもとに要点をまとめる |
| **第15週： これからの地域福祉に求められるもの**<br><br>こんにちの地域福祉では，地域の独自性を踏まえた多様な展開がなされていますが，一方では多くの自治体が共通して推進されるべき分野，めざす方向性があります。それらについて3点を取り上げこれからの地域福祉推進に求められること，地域福祉の方向性について説明します。 | 予習：地域福祉の今後の展望について調べる<br>復習：今後の地域福祉のあり方についてレポートにまとめる |
| **第16週： 期末試験**<br><br>期末試験の詳細は第15週目にお伝えします。 | 予習：これまでの配布資料，板書等を整理するとともに，講義内容について振り返る |

| | | |
|---|---|---|
| **授業の運営方法** | （1）授業の形式 | 「講義形式」 |
| | （2）複数担当の場合の方式 | |
| | （3）アクティブ・ラーニング | 「アクティブ・ラーニング科目」 |
| **地域志向科目** | カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目 | |
| **備考** | 講義内容については，進行状況等により変更する場合があります。 | |

| **〇単位を修得するために達成すべき到達目標** | |
|---|---|
| **【関心・意欲・態度】** | |
| **【知識・理解】** | 地域福祉に係る組織，団体および専門職等について理解している。 |
| **【技能・表現・コミュニケーション】** | 地域福祉におけるネットワーキングの意義と方法について説明することができる。 |
| **【思考・判断・創造】** | 地域福祉の推進のための課題とこれからの地域福祉に求められるものについて考察することができる。 |

| **〇成績評価基準（合計100点）** | | | 合計欄 | 100点 |
|---|---|---|---|---|
| 到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点 | **期末試験・中間確認等（テスト）** | **レポート・作品等（提出物）** | **発表・その他（無形成果）** | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| **【関心・意欲・態度】**<br>※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。 | | | |
| **【知識・理解】**<br>※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。 | **50点** | | |
| **【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】**<br>※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。 | **25点** | | |
| **【思考・判断・創造】**<br>※「考え抜く力」を含む。 | **25点** | | |

**（「人間力」について）**

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

**〇配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安**

| 成績評価方法 | 評価の実施方法と達成水準の目安 |
|---|---|
| **レポート・作品等（提出物）** | |
| **発表・その他（無形成果）** | |